



CD「和楽器でジブリ!!」の売り上げの一部を森林保全活動に

ごみ問題等から飲食店などでは割りばしの利用を控

ハートツリー

環境ビジネスの支援などを手掛けるハートツリー（東京都港区）は、「木」を活動の中心に位置付けて様々な取り組みを展開している。奈良県吉野地区のヒノキの間伐材を利用した広告付きの割りばしを推進、野球教室と合わせて子供たちと植樹を行う活動などを展開している。また、昨年未発売されたCDアルバム「和楽器でジブリ!!」では音楽とコラボレーションを行い、森林保全活動に貢献している。今後も企業や音楽、スポーツなど様々な分野とのコラボレーションを実施していく考えだ。

「木」で企業や音楽とコラボ

はしの普及活動を進めている。海外産に比べ国内産の間伐材はコストが高くなる

森林保全や間伐材利用を促進

「国産の間伐材を利用すれば森林保全にも環境問題にもプラス」という考えのもと、国産間伐材を使った割りばしやマイ

「国産の間伐材を利用すれば森林保全にも環境問題にもプラス」という考えのもと、国産間伐材を使った割りばしやマイ

野産のヒノキを活用することによって、割りばしに広告をつけた「アド箸」として展開することでコスト面の不利を補う。すでにロジテ・キシトリールの広告を付け、ローンとの共同展開が始まっている。

この取り組みは奈良県吉野産のヒノキを活用することによって、割りばしに広告をつけた「アド箸」として展開することでコスト面の不利を補う。すでにロジテ・キシトリールの広告を付け、ローンとの共同展開が始まっている。

野産のヒノキを活用することによって、割りばしに広告をつけた「アド箸」として展開することでコスト面の不利を補う。すでにロジテ・キシトリールの広告を付け、ローンとの共同展開が始まっている。



国産間伐材を使った割りばしなどを推進

の協力を得て野球教室を合わせて開くなど、「心に残る植樹」を目指している。

今後は音楽界とも積極的に連携していく方針で、その一環として音楽表現を追求するユニット「AUN RASSIC ORCHESTRA」とのコラボが実現。先月17日に発売されたスタジオジブリの人気映画の楽曲を和楽器で演奏したCDアルバム「和楽器でジブリ!!」の売り上げの5%を「AUN長野大学恵みの森」の活動の協賛金として提供、森林環境の保全と利活用を図る同大学の取り組みを支援する。今後も恵みの森をモチーフにしたコンサートなど、様々なイベントを企画・実施していく計画だ。